

- 問1 北関東3県（茨城県、栃木県、群馬県）の県庁所在地について述べた文として、茨城県の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
1. 関東地方の中南部に位置する千葉市に県庁が置かれている。
 2. 関東地方の内陸部に位置する宇都宮市に県庁が置かれている。
 3. 関東地方の北東部に位置する水戸市に県庁が置かれている。
 4. 関東地方の北西部に位置する前橋市に県庁が置かれている。
- 問2 千葉県に位置するこの半島では、江戸時代に九十九里浜などでいわし漁が盛んに行われた。漁獲されたいわしを干して肥料に加工し、各地の綿花栽培などに利用されたが、この半島はどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）
1. 紀伊半島
 2. 渥美半島
 3. 能登半島
 4. 房総半島
- 問3 茨城県の産業構造について、消費地との距離や土地利用の観点から説明した文として、適切な記述はどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 原料の輸送コストを抑えるため、石油化学コンビナートはすべて内陸部の山間部に設置されている。
 2. 県内全域で米の単作が行われているため、食料品工業のほとんどは酒造業や米粉加工に限られている。
 3. 南部の工業団地は、海外への輸出を専門とするため、空港に隣接した電子部品工場のみで構成されている。
 4. 首都圏という巨大な消費地に近い利点を活かし、都市部周辺では食料品工業が発達している。
- 問4 東京都の南に位置する横浜市は、江戸時代末の開港をきっかけに急速に発展しました。この都市の歴史的な背景と現在の状況について説明した文として、適切なものを選びなさい。（2022年 福島県公立入試 類似）
1. 日米修好通商条約などにより開港した歴史を持ち、現在は都心部の混雑緩和や港湾機能の更新のため、臨海部の再開発が進められている。
 2. 明治時代に初めて開港された新しい都市であり、現在は東京都に代わる日本の首都機能を担うため、大規模な官庁街が整備されている。
 3. 室町時代から国際貿易港として栄えていたが、現在は人口減少が深刻な課題となっており、都心機能の一部を近隣の県へ移転させている。
 4. 江戸時代末の開港により外国人の居留地が作られたが、現在は工業専用地域としての役割を強めており、商業施設の建設は行われていない。
- 問5 茨城県は野菜の農業産出額が1,700億円を超えるなど、全国でも有数の農業県です。東京都などの大消費地に近いという地理的条件を最大限に生かし、新鮮な野菜などを栽培して出荷する農業の形態を何といえますか。（2018年 富山県公立入試 類似）
1. 促成栽培
 2. 企業的農業
 3. 近郊農業
 4. 抑制栽培
- 問6 関東地方に位置する茨城県の人口動態と構成について述べた次の文のうち、現在の統計データが示す実態と一致するものはどれですか。（2021年 徳島県公立入試 類似）
1. 少子高齢化の影響により、人口増減率がマイナスを示すなど人口減少が進むとともに、高齢者割合が高まっている。
 2. 都心へのアクセスが極めて良いため、若年層の転入による社会増が続く、人口増加率がプラスを維持している。
 3. 大規模な住宅団地の開発が全域で進んでいるため、生産年齢人口の割合が全国で最も高くなっている。
 4. 出生率が大幅に上昇したことで、14歳以下の年少人口の割合が高齢者割合を大きく上回っている。
- 問7 関東地方の農村風景について述べた次の文のうち、地形と土壌の性質を正しく関連付けて説明しているものを選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 台地の土壌は保水力が極めて高いため、大規模な灌漑施設を必要とせず稲作が行われる水田地帯となっている。
 2. 関東平野の台地で見られる赤土は、かつての海底の泥が堆積したものであり、ミネラルを豊富に含むため水田に適している。
 3. 川沿いの低地は水はけが非常に良いため、水不足に強い作物を育てる畑として利用されるのが一般的である。
 4. 台地は火山灰が堆積した関東ローム層に覆われ水はけが良いため、野菜などを生産する畑として利用されることが多い。
- 問8 ある地域の常住人口（夜間人口）に対する、昼間その地域にいる人口の割合を「昼夜間人口比率」と呼びます。東京都のように、この数値が100を大きく上回る都市において、人口がこのように変化する主な理由として適切なものはどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
1. 周辺の地域から、仕事や通学のために多くの人々が移動してくるため
 2. 観光客が夜間に宿泊施設を求めて周辺の県へ移動するため
 3. 東京都は面積が狭く、1平方キロメートルあたりの人口密度が高いため
 4. 東京都の合計特殊出生率が周辺の県と比較して極めて高いため
- 問9 東京都の昼間人口比率が100を大きく超え、全国で最も高い数値を示す背景には、どのような都市構造や社会現象が関係していますか。周辺の県との関わりを踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
1. 都心部に広大な農業用地が確保され、周辺県から季節労働者が大量に流入するようになったため
 2. 周辺県の産業が衰退したことにより、すべての住民が東京都内に移住して夜間人口が急増したため
 3. 都心部の地価高騰などの影響で郊外に住宅地（ベッドタウン）が形成され、職住分離が進んだため
 4. 東京都の夜間人口が周辺県に比べて急激に減少したことで、相対的に昼間の活動人口が目立つようになったため
- 問10 日本の近代化や文化の伝来について述べた次の記述のうち、パリーの来航地である浦賀や、開港場となった横浜を擁する都道府県に該当する説明として最も適切なものを選びなさい。（2016年 山口県公立入試 類似）
1. 1870年代に野球などの西洋文化がいち早く伝えられた地であり、県内には現在も日本を代表する貿易港である横浜港が位置している。
 2. 明治以降の日本の主力輸出商品であった生糸の生産地として知られ、横浜港へ生糸を送り出す鉄道網が最初期に整備された内陸の県である。
 3. 正岡子規が野球用語を日本語に翻訳した地として知られ、幕末にはパリーが来航したものの開港は拒否し続けた歴史を持つ。
 4. 1915年に豊中市で最初の全国中等学校優勝野球大会が開催されるなど、古くからスポーツが盛んで全国最多の優勝回数を誇る府県である。
- 問11 茨城県や千葉県、群馬県などの関東地方の各県で行われている農業は、東京都という巨大な消費地に隣接または近接している利点を活かしています。この地域で行われる農業が、遠方の産地と比較して経営面で有利であるとされる主な理由として、最も適切な説明はどれか。（2026年 福島県公立入試 類似）
1. 広大な土地を利用して、機械化を大規模に進めることで、小麦や大豆などの穀物を低コストで大量に生産できる点。
 2. ビニールハウスや温室などの施設を利用してすることで、自然の条件よりも早い時期に収穫し、品薄な時期に高値で販売できる点。
 3. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かして、他の産地の出荷が終わった夏から秋にかけて野菜を出荷できる点。
 4. 消費地までの距離が短いため、輸送費を抑えることができ、収穫したばかりの新鮮な農産物を出荷できる点。
- 問12 関東地方に位置する都県のうち、東北地方（福島県）とのみ境界を接している県は2つあります。これらの県の県庁所在地の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）
1. 水戸市と宇都宮市
 2. 宇都宮市とさいたま市
 3. 水戸市と前橋市
 4. 前橋市とさいたま市